

令和2年8月6日開催

令和2年度第1回上越市博物館協議会資料 (歴史博物館)

- (1) 開館2年目及び令和元年度事業の成果について 1～9頁
- (2) 令和3年度事業計画について 10～11頁

上越市立歴史博物館 開館2年目及び令和元年度事業の成果

1 展覧会事業

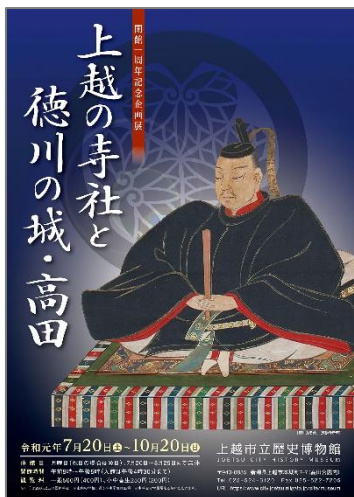
【令和元年度】

展覧会名	会期	内容	入館者数(うち展覧会観覧者数)
《逸品展示・特別公開》 御所参内・聚楽第 行幸図屏風	4月1日(月)～ 6月30日(日) (82日間)	「御所参内・聚楽第行幸図屏風」 は、豊臣秀吉が後陽成天皇を聚楽第 に迎える様子を描いた六曲一双屏風 を3年ぶりに公開した。	目標：14,000人 入館者数： 43,839人 (5,814人) 満足度：100%
《逸品展示》 榊原家寄贈資料 展示	※観桜会・GW期間 中無休	平成29年度に榊原家から寄贈され た榊原喜佐子氏(徳川慶喜の孫)ゆか りの品を紹介した。	
《開館1周年記念 企画展》 上越の寺社と徳 川の城・高田	7月20日(土)～ 10月20日(日) (85日間) ※観蓮会期間中無休	江戸時代前半、高田城は徳川家の 城であり、徳川一門の松平忠輝・忠 昌・光長らが高田藩主をつとめた。葵 紋入りの道具類や全国的にも数少な い徳川秀忠の肖像画、藩主らが寺社 へ宛てた寄進状など、市内の寺社に 残る資料を通じて高田藩と徳川家と のつながりを紹介した。	目標：9,000人 入館者数： 18,368人 (5,431人) 満足度：95%
《企画展》 探検！むかしの 暮らし	11月16日(土) ～3月8日(日) (92日間)	かつて私たちの生活に欠かすこと のできなかつた様々な道具を紹介す ることで、人々の知恵や工夫を学び、 現在の暮らしとの違いに目を向ける 場を提供した。(※小学3年生の社会 科学習に対応した内容)	目標：5,000人 入館者数： 11,539人 (3,770人) 満足度：100%
常設展のみ	(57日間)	常設展示「越後の都」の展示替えを年 4回実施した。	目標：4,000人 入館者数： 8,995人 (1,983人) 満足度：100%
<ul style="list-style-type: none"> ・企画展と逸品展示の開催のほか、常設展示の展示替えを年4回実施した。 ・目標入館者数32,000人に対し、実績は82,741人(このうち有料観覧者：12,682人、無料観覧者：4,316人、ラウンジ等への無料入館者：65,743人)となり、目標を達成することができた。 ・目標満足度(常設展示のみの期間を含む)が80%以上に対し、実績は97.8%となり、目標を達成することができた。(※満足度は「満足」「やや満足」「やや不満足」「不満足」の項目から「満足」「やや満足」と回答した人の割合) 			

【令和2年度】

展覧会名	会期	内容	入館者数(うち展覧会観覧者数)
《逸品展示》 楊洲周延肉筆画展	4月1日(水)～ 6月28日(日) (79日間→実績は 59日間) ※観桜会・GW期間 中は無休	高田藩士であった橋本直義が楊洲周延として歩んだ浮世絵師の道を、最晩年の作「流鏑馬之図」を含む肉筆画や浮世絵で紹介した。	目標：35,000人 入館者数： 9,568人 (1,037人) 満足度：100%
《企画展》 直江津今町と北前船の時代	7月18日(土)～ 10月18日(日) (85日間) ※観蓮会期間中無休	古くから日本海側有数の湊町であり高田藩の外港として栄えた「直江津今町」と、日本遺産に認定された「北前船」の関わりについて、市指定文化財の福永家文書や船絵馬などの資料から紹介する。	目標：17,500人 入館者数：672人 (185人) ※7/18～20の人数
《企画展》 探検！むかしの暮らし	11月14日(土) ～3月7日(日) (90日間)	小学校3年生のカリキュラムに対応した民具展示。昭和初期から昭和40年代までのくらしを豊富な民俗資料で紹介する。	目標：11,500人
常設展のみ	(57日間)	常設展示「越後の都」の展示替えを年4回実施する。	目標：7,000人
<ul style="list-style-type: none"> ・目標入館者数は71,000人(企画展開催期間：64,000人、常設展のみの期間：7,000人)。 ・目標満足度を80%とする。(満足度は「満足」「やや満足」「やや不満足」「不満足」の項目から「満足」「やや満足」と回答した人の割合) 			

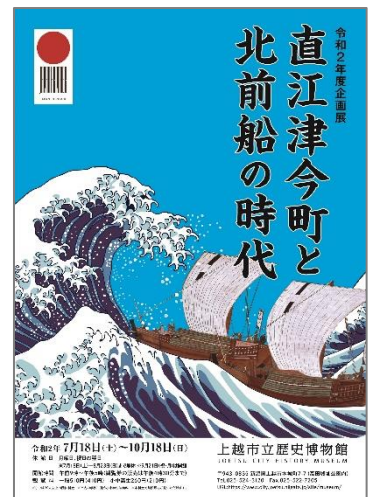
※観桜会・GW期間中は無休であったが、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言拡大のため4月19日(日)～5月10日(日)まで臨時休館。5月11日(月)は臨時開館。



令和元年度 開館一周年記念
企画展「上越の寺社」チラシ



令和元年度
企画展「むかしの暮らし」チラシ



令和2年度
企画展「北前船」チラシ

<開館以来の入館数について>

		平成 30 年度 ① (H30/7/21~H31/3/31)		令和元年度 ② (H31/4/1~R2/3/31)		開館以来通算 ①+②	
展示 観覧者数	うち有料	11,186	16,104	12,682	16,998	23,868	33,102
	うち無料	4,918		4,316		9,234	
無料ゾーン利用者数 (ラウンジ・カフェ・屋上)		25,030		65,743		90,773	
総入館者数		41,134		82,741		123,875	

<開館 1、2 年目の入館数について>

		開館 1 年目 ③ (H30/7/21~R1/7/20)		開館 2 年目 ④ (R1/7/21~R2/7/20)		比較 ④-③	
展示室 観覧者数	うち有料	16,654	22,603	8,527	12,040	▲8,127	▲10,563
	うち無料	5,949		3,513		▲2,436	
無料ゾーン利用者数 (ラウンジ・喫茶・屋上)		65,386		36,973		▲28,413	
総入館者数		87,989		49,013		▲38,976	

<催事期間の入館者数>

年度	催事名	期間	入館者数	1 日平均
H30	蓮まつり	H30/7/21~H30/8/19	11,738	391
R1	観桜会	H31/4/1~H31/4/15	29,006	1,934
	GW10 連休	H31/4/27~R1/5/6	4,815	482
	蓮まつり	R1/7/20~R1/8/25	10,399	281
R2	観桜会	R2/4/1~R2/4/15	5,451	363
	GW8 連休	R2/4/29~R2/5/6 (新型コロナによる臨時休館中)	0	0

2 教育普及事業

【令和元年度】

(1) 展示解説会の実施

展覧会名	内 容
《開館一周年記念企画展》 上越の寺社と徳川の城・高田	日時：7月20日(土)、8月3日(土)、8月25日(日) 時間はいずれも10:00~11:00 参加者数：延べ115人
《企画展》 探検！むかしのくらし	内容：教育コラボ2019 学び愛フェスタ関連イベントとして、 子供向け解説ツアーを実施 日時：11月16日(土)13:30~14:10 参加者数：子供9人、保護者8人

	見学学校数（市内）：44校（40校） 見学児童数（市内）：1,564人（1,443人）
常設展示「越後の都」	※予約による団体解説を随時実施 参加者数：69件2,018人



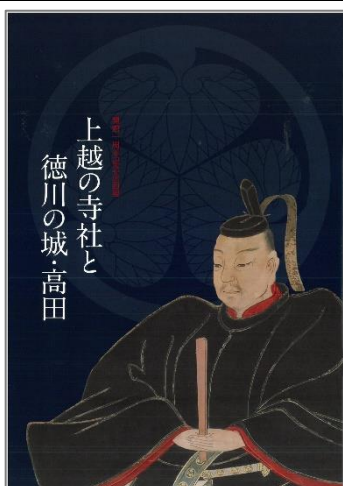
企画展「上越の寺社」展示解説会



企画展「むかしの暮らし」小学校見学対応

（2）刊行物の発行

刊行物名	内容
『開館1周年記念企画展 上越の寺社と徳川の城・高田』パンフレット	企画展パンフレットとして作成。 （規格：A4判・24ページ、印刷部数：1,000部、頒布価格：400円）
『探検！むかしの暮らし』探検ブック	子供向けのワークシートとして作成。内容は小学3年生の社会科学習にあわせた。子供たちに無償配布。 （規格：A2判・蛇腹折、印刷部数：2,000部）



右：企画展「上越の寺社」パンフレット
左：企画展「むかしの暮らし」探検ブック

（3）博物館実習生の受入れ

実習期間	実習生の所属大学	内容
8月6日（火） ～8月10日（土） 〔5日間30時間〕	新潟産業大学経済学部 ※申込者1名	講義：「資料の保存と管理」「展示論」など 実習：「資料の取扱い」「資料の整理」「資料台帳作成について」など ※受講条件は、市内出身者もしくは市内の大学に通う博物館学芸員を志望する学生

(4) 中学生職場体験の受入れ

期間	学校名・学年・人数	内 容
8月5日(月)～ 8月9日(金)	直江津中学校2年生 3人	受付体験、館内案内・誘導、館内清掃、博物館クイズの作成、展示解説など
8月19日(月)～ 8月23日(金)	城北中学校2年生 3人	受付体験、館内案内・誘導、館内清掃、博物館クイズの作成、展示解説など

(5) 出前講座・職員派遣等

講座名	内 容
【職員派遣】 新潟日報社主催 「未来のチカラ in 上越」企画講座	期日：5月9日(木) 演題：城下町高田と小町問屋 会場：旧今井染物屋 参加者数：15人
【出前講座】 五智歴史の里会館 文化講演会	期日：5月25日(土) 演題：高田藩と戊辰戦争 会場：五智歴史の里会館 参加者数：70人
【出前講座】 上越プロバスクラブ 講話	期日：6月12日(水) 演題：下級武士の生活 会場：市民プラザ 多目的室 参加者数：15人
【出前講座】 松平忠輝と五郎八姫の会講演会	期日：8月10日(土) 演題：徳川一門の城下町—上越に残る徳川の記憶 会場：高田地区公民館(高田公園オーレンプラザ) 参加者数：80人
【出前講座】 高田地区公民館事業 歴史めぐり①	期日：9月4日(水) 演題：榊原政令の手紙と高田城下町のできごと 会場：高田地区公民館(高田公園オーレンプラザ) 参加者数：20人
【職員派遣】 兵庫県立歴史博物館 歴史講演会	期日：9月15日(日) 演題：榊原政岑の「不行跡」と大田原儀兵衛の諫め状 会場：兵庫県立歴史博物館 地階ホール 参加者数：100人
【出前講座】 高田地区公民館事業 歴史めぐり②	期日：9月18日(水) 演題：城下の商人…町年寄森家の古文書から 会場：高田地区公民館(高田公園オーレンプラザ) 参加者数：20人

<p>【職員派遣】 旧高田藩和親会 郷土史フォーラム</p>	<p>期日：10月26日（土） 演題：高田城下商人一町年寄森家の経営 会場：高陽荘 参加者数：100人</p>
<p>【職員派遣】 新潟大学非常勤講師</p>	<p>期日：10月31日（水）11月7日（水）11月14日（水） 演題：近世越後諸地域の歴史と社会 会場：新潟大学 参加者：約100人</p>
<p>【出前講座】 新潟県社会科教育研究会 秋季研究発表大会</p>	<p>期日：11月9日（土） 演題：高田開府300年祭 会場：上越教育大学学校教育実践研究センター 参加者数：30人</p>
<p>【出前講座】 清里地区公民館事業 清里すこやか大学</p>	<p>期日：11月20日（水） 演題：頸城油田について 会場：上越市立歴史博物館 常設展示室および3階講堂 参加者数：30人</p>
<p>【出前講座】 三和地区公民館事業 歴史まち探訪</p>	<p>期日：11月21日（木） 演題：高田の歴史（高田瞽女の歴史を中心に） 会場：上越市立歴史博物館 常設展示室 参加者数：15人</p>
<p>【職員派遣】 新潟日報カルチャースクール上越教室 講座 郷土ゆかりの先人たちを学ぶ</p>	<p>期日：12月7日 演題：前島密 会場：新潟日報カルチャースクール上越教室 参加者：15人</p>
<p>【職員派遣】 「守れ！文化財～モノとヒトに光を灯す～」事業主催 シンポジウム</p>	<p>期日：3月1日（日） 演題：高田盲学校の資料について 会場：新潟県立歴史博物館 講堂 参加者：25人</p>

（6）人権・同和問題研修の実施

研修対象者	内容
<p>【学校教育課主催】 小中学校及び教育委員会職員対象研修会（学校管理職、人権教育担当教諭、市教育委員会職員、上越教育事務所職員）</p>	<p>期日：9月27日（金）、10月3日（火）、10月15日（火）、 10月23日（水）、10月30日（水）、11月6日（水） 参加者数：延べ191人</p>

（7）有線放送「歴史博物館だより」の実施

6月から3月まで上越市有線放送の番組「歴史博物館だより」で、常設展示のみどころや企画展の内容について紹介した。（全10回）

【令和2年度】

(1) 展示解説会の実施

展覧会名	日時（予定）
《企画展》 直江津今町と北前船の時代	8月8日（土）、9月5日（土）の2日間 時間はいずれも午前10時から11時まで →新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
《企画展》 探検！むかしの暮らし	新型コロナウイルス感染防止策をとった上で、小学校の希望に応じて実施する予定

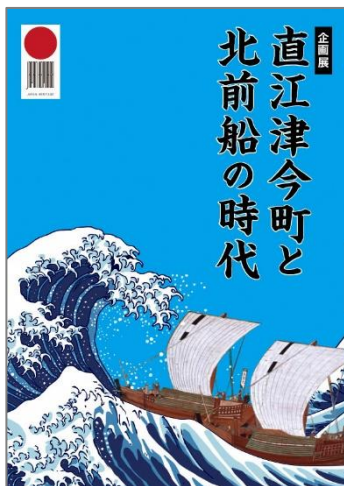
※このほかに団体等で依頼があった場合、随時展示解説を行う。

※年間を通じて、土日祝日、観桜会期間、運まつり期間について展示解説員を配置する。（解説は新型コロナウイルス感染防止策をとった上で実施）

※新型コロナウイルス感染防止のため、4月1日以降の団体への展示解説は中止している。

(2) 刊行物の発行

刊行物名	内容
『企画展 直江津今町と北前船の時代』 パンフレット	企画展パンフレットとして作成。 （規格：A4判・24ページ、印刷部数：1,000部、頒布 価格：400円）
『探検！むかしの暮らし』探検ブック	子供向けのワークシートとして作成。内容は小学3年生 の社会科学習にあわせた。子供たちに無償配布。 （規格：A5判、印刷部数：2,000部）



企画展「北前船展」パンフレット

(3) 博物館実習の受入れ（小林古径記念美術館との共同事業）

令和2年度は小林古径記念美術館の開館準備に伴い、博物館実習は実施しない。

(4) イベントの実施

教育コラボ2020 学び愛フェスタ関連イベントとして、「高田城のスゴイところ発見ツアー」を実施予定。高田城址公園内を散策しながら、高田城のみどころを学芸員が紹介する。

日時は11月7日（土）10:00～11:30、参加者数は親子10組程度、参加費無料。

3 調査研究事業

【令和元年度】

(1) 各区所蔵民俗資料調査・民俗資料拠点収蔵施設整備事業

- ・引き続き三和区民俗資料のクリーニング、配架作業を行った。
- ・平成 27 年度以降の新規受入れ資料の台帳整備を行った。
- ・岡沢拠点収蔵施設への集密化を実施、黒岩拠点収蔵施設との統合について検討を進めた。

(2) 歴史・民俗資料収集

- ・購入数 14 件 23 点（歴史資料 6 件 6 点、参考図書 8 件 17 点）
- ・寄贈数 31 件 412 点（歴史資料 1 件 2 点、民俗資料 30 件 410 点）

(3) 調査研究事業

- ・令和 2 年度企画展「直江津今町と北前船の時代」開催にかかる諸調査（国文学研究資料館、秋田県立博物館、高田図書館、公文書センター、市内神社など）
- ・高田図書館資料の移管に伴う調査

【令和 2 年度】

(1) 民俗資料整理作業

- ・黒岩拠点収蔵施設（柿崎区）の保管資料を岡沢拠点収蔵施設（中郷区）へ移動し、民俗資料の一元管理を進める。移動後は資料状態を確認し適正管理に努めるとともに、未整理となっている資料については順次整理作業を実施する。
- ・新規受入れ資料の台帳整備を行う。

(2) 歴史・民俗資料収集（令和 2 年 4 月 1 日～7 月 20 日）

- ・購入数 2 件 2 点（歴史資料 0 件、参考図書 2 件 2 点）
- ・寄贈数 5 件 17 点（歴史資料 0 点、民俗資料 5 件 17 点）

(3) 調査研究事業

- ・日本スキー発祥記念館の収蔵資料調査・整理
- ・高田図書館資料の移管に伴う調査・整理
- ・令和 3 年度特別展にかかる調査

4 成果と課題

(1) 改修の成果

- ・改修工事によって、施設を共有してきた美術館と分離した。また常設展示「越後の都」を整備し、代わりに展覧会回数を減らした。結果、改修前は博物館・美術館の展覧会は入館者数を合算して計上していたが、改修後単独となったにもかかわらず、展示観覧者数は平成 27 年度に比して 1 割から 2 割増となり、歴史博物館が市民・観光客に受け入れられた成果と考えている。

- ・カフェや屋上・ラウンジなどの無料コーナーの利用者が大きく増えた。特に観桜会期間中の屋上利用者が突出して多くなった。改修の目的の一つに高田城址公園の散策拠点としての位置づけがあり、成果が出たものと考えられる。
- ・改修前は、年間を通じて4～5本の企画展を開催していたが、改修後は年間2本の企画展と逸品展示1本にすることができた。これによって、企画展については図録もしくはパンフレットを作成することができるようになった。

【参考：改修前後の入館者数の推移】

	H27	H28	H29	H30	R1
総入館者数	25,552	23,028	—	41,134	82,741
展示観覧者数	—	—	—	16,104	16,998
うち有料観覧者	10,326	8,307	—	11,186	12,682
うち無料観覧者	15,226	14,721	—	4,918	4,316
無料ゾーン利用者数 (ラウンジ・カフェ・屋上)	—	—	—	25,030	65,743

※平成28年度は11月6日までの入館者数。以降、大規模改修工事のため休館。

※平成30年度は7月21日からの入館者数。

(2) 令和元年度事業の成果

- ・開館1周年記念として企画展「上越の寺社と徳川の城・高田」を開催した。この展覧会では、平成26年度に開催した開府400年記念特別展「越後の都高田と 徳川家康の血族」において、十分に取り上げることができなかった高田寺町の徳川家ゆかりの寺社を取り上げ、開府400年特別展を補完することができた。
- ・改修以前から冬季の企画展として固定してきた「探検！むかしのくらし」については、市内学校の見学数が約8割と改修以前のレベルに戻っている。今後も継続していく。
- ・民俗資料整理事業については、平成18年度以来継続して事業を進めてきた。平成30年度までに各区の民俗資料の台帳整備と岡沢拠点収蔵施設及び黒岩拠点収蔵施設への集約が終了した。

(3) 今後の課題

地域の資料調査等の機会を増やし、その成果を展覧会や講演会、論文等で市民へ還元するとともに、研究の成果・博物館事業の記録のため、恒常的に研究紀要・年報の発刊を行う。